



## 新創記念特別展 第7部 いのりのかたち

### 八十一尊曼荼羅と仏教美術の名品

Masterpieces of Buddhist Art : Representing the Sublime

2010年7月10日(土)~8月8日(日)

[休館日]月曜日 ただし7月19日(月・祝)開館、翌20日(火)休館

根津美術館では新創開館を記念する特別展（2009年10月より8回開催）の第7部「いのりのかたち 八十一尊曼荼羅と仏教美術の名品」を2010年7月10日(土)~8月8日(日)まで開催します。

根津美術館のコレクションは、華麗な琳派絵画と枯淡の茶道具とならび、重厚な宗教美術が中核をなしています。なかでも仏教美術の蒐集は、仏寺の建立までも計画した初代根津嘉一郎（1860-1940）の真摯な想いが駆り立てたものでした。

「いのりのかたち 八十一尊曼荼羅と仏教美術の名品」展では、根津美術館が誇る500件余の宗教美術作品より選りすぐった、日本・朝鮮・中国の優品約30件を展示します。

平安時代から鎌倉時代、仏教美術は質・量ともにひとつのピークを迎えます。京都や奈良における仏教諸派の活発な活動は、現世での利益や調伏の願いをこめた密教尊像や、極楽往生のさまを描いた来迎図、仏伝を図示した説話画など、信仰と美意識を反映したさまざまな造形を生みだしました。展示室1・2では、曼荼羅の傑作として知られる「金剛界八十一尊曼荼羅」（重要文化財）をはじめとする密教絵画バリエーション豊かな来迎図や「絵過去現在因果経」（重要文化財）などの説話画を展示します。加えて高麗の大徳10年（1306）の年紀をもつ「阿弥陀如来坐像」（重要文化財）といった高麗仏画も出展します。

さらに、今回初めて出展される木彫「不動明王立像」は、閉館中に実施した調査によりその学術的価値が評価され、小ぶりながら量感あふれる優品として注目されます。

展示室3の木彫の仏像群はもとより、エントランスホールに展示するガンダーラの弥勒菩薩像や中国・北齊時代の白玉像などを含め、本展覧会は“いのりのかたち”との静かな対話を提案します。

### 密教絵画



部分 大日如来



部分 金剛歌菩薩



重要文化財 金剛界八十一尊曼荼羅 1幅 絹本着色  
216.0×209.8 cm 鎌倉時代 13世紀 根津美術館蔵

## 密教絵画



重要文化財 愛染明王坐像 1幅  
鎌倉時代 13世紀 絹本着色 82.3×51.0cm  
根津美術館蔵

## 来迎図



阿彌陀二十五菩薩来迎図 1幅  
鎌倉時代 14世紀 絹本着色  
138.8×62.2cm 根津美術館蔵

## 法華経絵



重要文化財 普賢十羅刹女像 1幅  
平安時代 12世紀 絹本着色 109.5×62.5cm  
根津美術館蔵

## 高麗仏画



重要文化財 阿彌陀如来坐像 1幅  
朝鮮・高麗時代 大徳10年(1306)  
絹本着色 162.2×92.2cm 根津美術館蔵

## 木彫



### 初公開

不動明王立像 1軀 平安時代 12世紀  
木造彩色 像高 22.8cm 根津美術館蔵

ボリューム感あふれるプロポーションには、小像とは思えない迫力があります。衣を飾る截金も美しく、平安時代後期に制作された不動明王像の美作として注目されます。

## 中国金銅仏



重要文化財 釈迦多宝二仏並坐像 1基  
中国・北魏時代 太和13年(489)  
銅造鍍金 高さ 23.5cm 根津美術館蔵

## 木彫 [展示室3~ホール]



帝釈天立像 1軀 定慶作  
鎌倉時代 建仁元年(1201)  
木造彩色 像高 184.2cm 根津美術館蔵

## 仏教説話画



重要文化財 絵過去現在因果経 1巻 良盛筆/住吉慶忍・聖聚丸画  
鎌倉時代 建長6年(1254) 紙本着色 27.6×1139.4cm  
根津美術館蔵



## [併設展示]

### 展示室 5

#### 魅惑の大皿

大きな皿は、その大きさと観る者を圧倒します。江戸時代の絵画やイスラムのミニアチュールからは、大皿を囲んだ人々が食事を楽しむ様子がうかがわれます。一方、ヨーロッパや中近東諸国では大皿を壁に飾り、絵画と同じように鑑賞しました。大きな皿のさまざまな表情が楽しめる展示です。



いろえきどうもんおおひらはら  
色絵葡萄文大平鉢  
江戸時代 17世紀  
根津美術館蔵

### 展示室 6

#### 夕さりの茶

「夕さり」は、日没の頃、夕方を意味します。夏の茶会は、暑い日中を避けるように夕刻から始め、燭台の灯火のもとで茶を楽しみます。葡萄文様の涼しげな水指や、夕暮にちなんだ銘をもつ茶道具など、「夕さりの茶会」の取り合わせをご覧ください。



こそめつけきどうみずさし  
古染付葡萄水指  
中国・明時代 17世紀  
根津美術館蔵

### 展示室 4

コレクションの一翼を担うのは、中国・河南省侯家莊出土の伝承をもつ殷時代の青銅器です。饗饗がくつきりとあらわされた尊や盃の名品 20 件を展示いたします。



重要文化財 饗饗文尊  
中国・殷時代 前13-12世紀  
根津美術館蔵

## [関連情報]

### ◆第7部 特別講演会

#### 講演会1「密教のみほとけ ーいのりとかたち」

日時 7月24日(土) 午後2時から午後3時30分

講演 有賀祥隆氏(東北大学名誉教授・東京藝術大学教授)

#### 講演会2「日本の仏像 ー根津美術館コレクションを中心に」

日時 8月7日(土) 午後2時から午後3時30分

講師 山本 勉氏(清泉女子大学教授)

※場所はいずれも根津美術館 講堂、定員140名

〈申し込み方法〉 往復はがきに、希望する「講演会1」または「講演会2」、住所、氏名(返信面にも)電話番号を明記のうえ、

〒107-0062 東京都港区南青山6-5-1 根津美術館「第7部特別講演会係」にお申込み下さい。

「講演会1」は2010年7月10日(土)、「講演会2」は7月24日(土) 締切(当日消印有効)

※参加希望者1名につき1枚の往復はがきでお申し込みください。応募者多数の場合は抽選となります。

※聴講は無料ですが、入館料をお支払いください。

### ◆ギャラリートーク

第1回:7月16日(金)、第2回:7月30日(金) いずれも午後1時30分より約60分間

※イヤホンガイドを使って行います。定員先着30名。

※午後1時よりホールにて整理券を配布します。

※聴講は無料ですが、入館料をお支払ください。

## [開催概要]

- 【展覧会名】 「いのりのかたち 八十一尊曼荼羅と仏教美術の名品」
- 【開館期間】 2010年7月10日(土)～8月8日(日)
- 【開館時間】 午前10時～午後5時 [入館は閉館の30分前]
- 【休館日】 毎週月曜日 ただし7/19(月・祝)は開館、翌20日(火)休館
- 【入館料金】 一般1200円 学生1000円  
※20名以上の団体、身障者手帳提示者および同伴者1名は200円引き  
※小・中学生以下は無料
- 【前売券】 一般1100円 学生900円  
※6月5日(土)～7月4日(日)「能面の心・装束の華」展開催期間  
※美術館受付にて販売
- 【アクセス】 地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線〈表参道〉駅下車  
A5出口(階段)より徒歩8分、B4出口(階段とエスカレーター)より徒歩10分、  
B3出口(エレベーターまたはエスカレーター)より徒歩10分
- 【住所】 〒107-0062 東京都港区南青山6丁目5番1号
- 【お問合せ】 TEL 03-3400-2536 (代表)  
<http://www.nezu-muse.or.jp>

## [展覧会リリース、広報画像はホームページからもダウンロードできます]

【リリースPDF】 <http://www.nezu-muse.or.jp/jp/press/>

【広報画像ダウンロード】 <http://www.nezu-muse.or.jp/jp/press/download/>

---

### [リリース・広報のお問い合わせ]

担当：鎌倉/朝倉/<sup>しらほら</sup>白原

TEL(学芸・広報/直) 03-3400-2538 / 携帯電話(鎌倉) 080-6622-2536

FAX 03-3400-2436 MAIL: [press@nezu-muse.or.jp](mailto:press@nezu-muse.or.jp)

---